

【桂萱の1コマ】地区を代表する景観構成要素



ふるさと自慢〔住む人の声〕

歴史
諏訪神社の獅子舞(上泉の獅子舞)
上泉伊勢の守

街
桜による彩り
田園を走る上毛電鉄

音風景
上毛電鉄の走る音

人
美化活動や花づくり活動など住民活動が盛んな気質

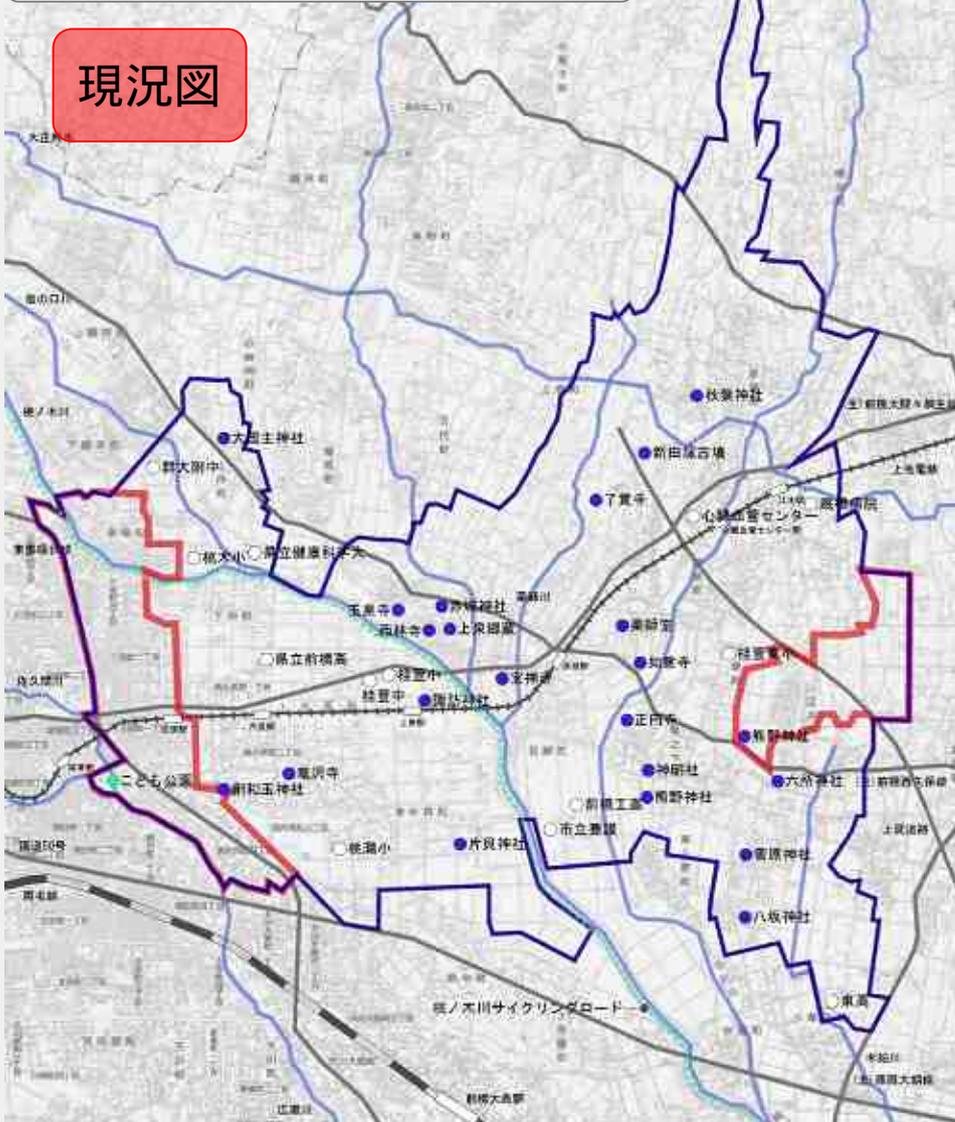
風の軸
桃ノ木川および赤城白川の河川が軸

拓く
植栽計画、花づくり活動で夢を描く

赤城山遠望軸
桃ノ木川、赤城白川との合流点からの赤城山の眺め

香り
菜の花

現況図



地区の課題

景観にかかる課題1

北部の赤城南麓の斜面から続く寺沢川や薬師川を軸とした南南西へと下る緩やかな斜面地から、南部の桃ノ木川を中心に形成された平坦な水田地帯へと、変化する地形をもつ地区だが、開発などにより、北部の斜面地の緑や、南部の田園風景が失われつつある。

景観にかかる課題2

市街化区域に接する区域は、市街化調整地区でありながら人口集中地区となっており、住宅市街地の密集化がみられる。

景観にかかる課題3

上泉町には、上泉郷倉や古い町並みが残っており、このまちなみを地域の景観資源として保全し、地域の景観づくりに生かしていく必要がある。

体制にかかる課題1

伝統芸能、清掃活動、除草活動及び植樹などの地域住民活動が地道に続けられており、この活動力を地域の景観づくりにも広げていけるような取り組みが求められる。



景観形成 重点地区候補地

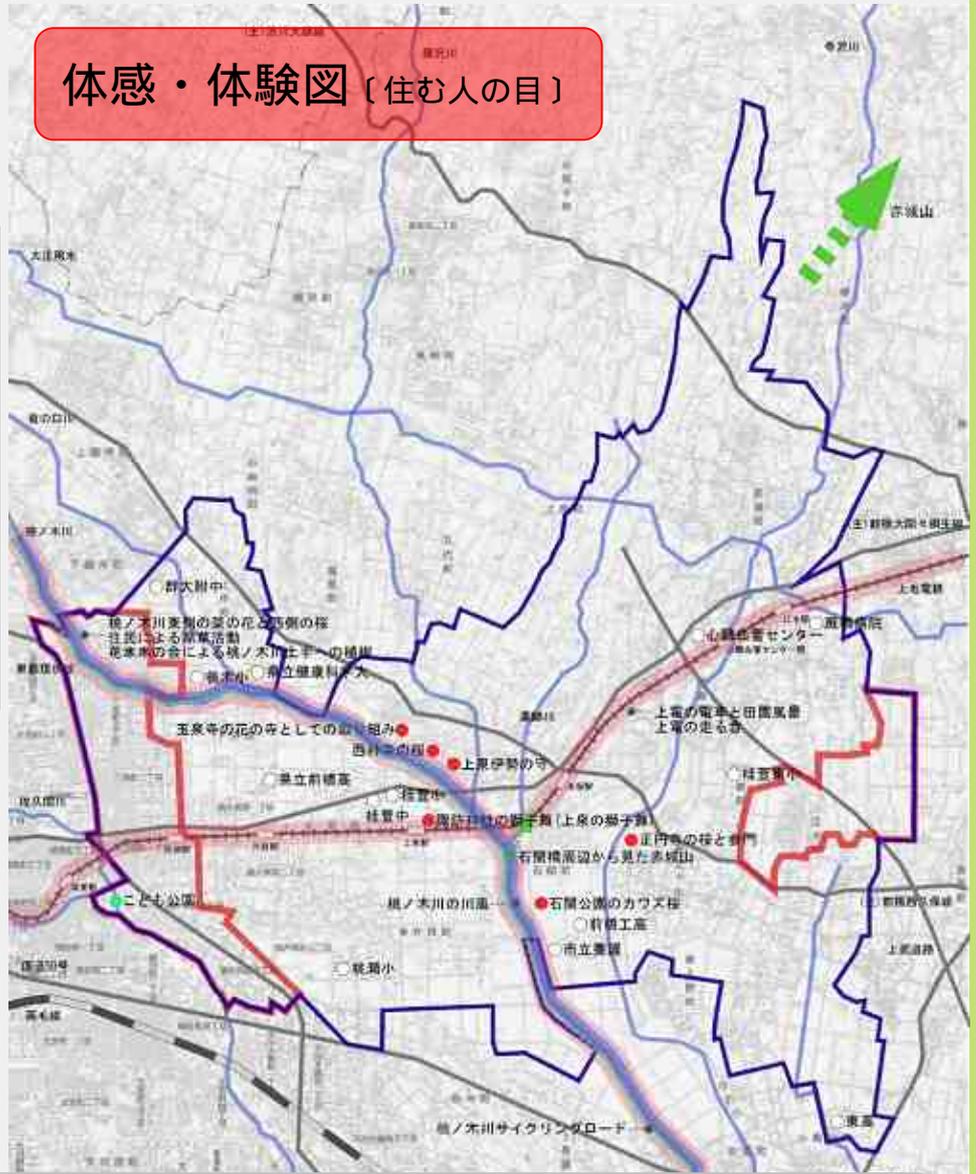
上泉郷倉周辺地区

景観形成のテーマ
身近な歴史的空間を
大切にする

目標
地域に残る歴史的な
建築形態を守り、改築
の際には歴史性を受け
継いでいく

出典 / 前橋市景観形成モデル地
区指定指針（平成 11 年 3 月）

体感・体験図〔住む人の目〕



地区の方針

景観形成方針 1

赤城南麓の斜面から続く寺沢川や薬師川を軸とした緩やかな斜面地の緑と、桃ノ木川や赤城白川を軸とした平坦な水田地帯といった、東西・南北方向のそれぞれの河川軸が作り出した、斜面地の緑と田園風景からなる地区の眺めを守る。

景観形成方針 2

上毛電鉄の片貝駅・江木駅・心臓血管センター駅・上泉駅は、周辺に立地する公共公益施設とアクセス面・施設面でのつながりが弱いため、誘導ルートにおける最寄り駅との一体的な修景整備などにより、地域と一体となった利用しやすい環境整備に取り組む。

景観形成方針 3

市街化調整区域内の人口集中集地区や将来宅地化が予想される区域においては、基盤整備と合わせたまちづくりに取り組む。

景観形成方針 4

上泉町は、上泉郷倉や古いまちなみを保全するとともに、面的に修景する。

景観形成方針 5

桃ノ木川沿いに展開される菜の花やハナミズキ、桜などの飾花・植樹への取り組みにより、潤いある水辺環境が形成されており、これら河川景観が地域の代表的景観となるよう守り続ける。また、桃ノ木川と赤城白川越しにみる赤城山の眺望も合わせて守る。

景観形成方針 6

田園の中を上毛鉄道が走る風景や、上毛鉄道の走る音が、地域の子もたちの原風景となるよう、農地の保全や飾花活動などによる彩りのある環境を守る。

体制整備方針 1

諏訪神社の獅子舞（上泉の獅子舞）などの伝統芸能、植樹、清掃活動など、景観づくりに寄与する地域住民活動に対する柔軟な支援体制を整える。